

特集

The Linimo in our town

リニモ わたしたちの

平成17年(2005年)3月に開業したリニモによって、市域の東西に公共交通の基盤軸が形成され、リニモを軸としたまちづくりが進展し始めました。市内の移動を補完する民間バスやNーバスによって新たなバス路線網も形成されました。リニモは今では年間約750万人が利用する名古屋市東部の重要な基幹路線となっています。

経営状況を見ていくと、平成17年の愛・地球博閉幕後は苦戦を強いられてきましたが、人口増加や活性化事業の成果もあり、利用者は順調に伸び続け、平成27年度に営業損益が初めて黒字となりました。

また、リニモ沿線の開発を行い、長久手古戦場駅、公園西駅では、新たに魅力的なまちづくりが始まっています。

今日、リニモはまちづくりの基軸となっており、“長久手ブランド”の向上に大きく寄与しています。今回は、長久手市の重要な公共交通であるリニモについて特集します。



リニモ

What is the Linimo?

とは？

◎ 経営企画課
☎ 56-0600

記事ID9430

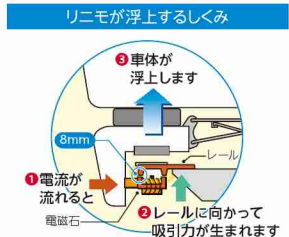


わたしたちの
リニモ

リニモとは、日本で唯一の常電導磁気浮上式リニアモーターカーです。地面から浮いて走る「夢の乗り物」。その魅力をご紹介します。

■ 浮いて走る

車体に取り付いている電磁石に電流が流れると、レールに向かって吸引力が生まれ、車体が浮上。そして、リニアモーターの仕組みで前に進みます。



■ 騒音や振動が少なく快適

車体が浮いているため、電車特有の「カタンゴトン」といった振動がなく、乗り心地が快適です。

■ 脱線しません

車両がレールを抱え込む構造なので、脱線や転覆などの事故の心配がありません。

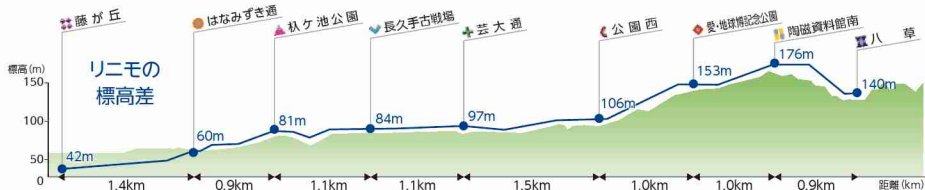
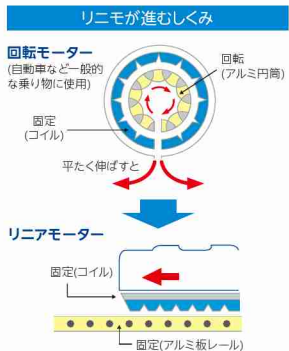
■ 加速力は新幹線の1.5倍

リニアモーターの力で、加速力が新幹線の1.5倍あり、最高時速は約100kmになります。



■ 急な坂や急カーブもスムーズに走行

急こう配でも、リニモだからこそスムーズに走ります。はなみずき広場の急カーブも普通の電車では曲ることができません。



リニモの利用状況

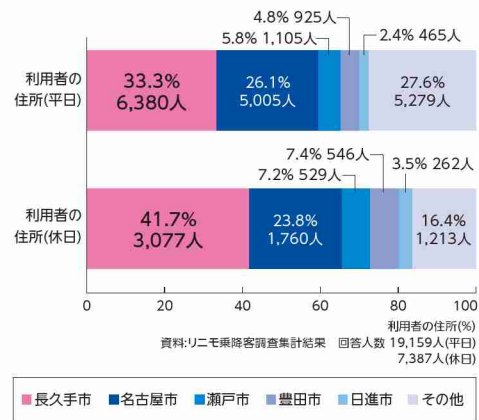
① 9年間で利用者が250万人増加

リニモの年間利用者数は万博後の平成18年度から着実に増加しており、この9年間で約250万人増加しています。今では年間約750万人、1日あたり約20,000人が利用しています。



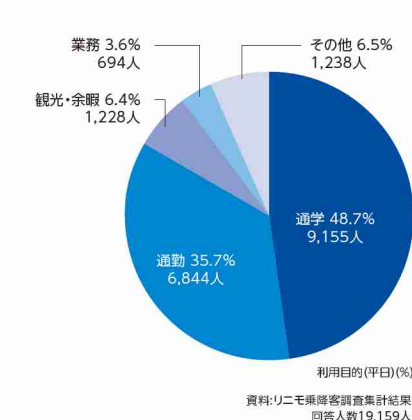
② 利用者の3割以上は長久手市民

リニモ利用者の住所の内訳を見ていくと、平日、休日ともに長久手市民の利用者が、沿線市の中で最も多い利用となっています。このことから、リニモが長久手市民にとってかけがえのない足になっていることがわかります。



③ 「日常」の移動手段として

平日のリニモ利用者の利用目的に関しては、通学・通勤の利用目的が83.5%となっており、市内外を問わず多くの方々の重要な移動手段となっていることがわかります。



リニモを支えてきた取り組み

Initiatives that have supported the Linimo

1 東部丘陵線連絡協議会



東部丘陵線連絡協議会(愛知県とリニモ沿線市で構成)は、リニモ沿線地域の活性化とリニモの利用促進を図るため、平成17年9月26日に立ち上げられました。以降、リニモ利用者の増加に向け、イベントの開催や、利用促進のための情報発信など様々な取り組みを行っています。

☑ わくわく体験リニモツアーズ

小学生とその保護者を対象に、夏休み期間中に開催。貸切リニモの体験乗車と沿線施設の体験講座をセットにしたツアーです。

☑ イベントガイドの作成

通学利用者の利用が減る夏休み及び春休み時期の利用促進のため、リニモ沿線のイベントを一覧にしたイベントガイドを作成しました。リニモや名古屋市営地下鉄の駅、名古屋市観光案内所、県内のファミリーマート(春休みのみ)に設置し、情報発信を行いました。



リニモを支えてきた取り組みについて、ご説明いたします。



リニモ応援キャラクター
リニモたん
©K/Q/C



☑ リニモウォーキング

毎年「新緑」、「秋色」、「早春」の3シーズン開催し、参加者に対して沿線の観光資源等をPRするとともに、リニモの利用促進を図っています。

また沿線施設等と連携し、参加者への割引特典を実施しています。平成27年度は年間11回開催し、延べ14,800人の参加がありました。



2 市と連携した事業



☑ リニモクリスマストレイン

冬期には、はなみずき広場、図書館通りをイルミネーションで毎夜彩るながくて冬まつり。実は、リニモでも冬まつりと連携したイベント「リニモクリスマストレイン」の運行を行っています(今年度は実施予定なし)。車内を華やかなイルミネーションで飾ったリニモ特別列車内で生演奏などを行い、お客様に楽しんでもらうという企画です。



【上】リニモクリスマストレインの運行日に合わせて、冬まつりイベント等を実施。

沿線の市街地整備

Urbanization along the Linimo line

平成30年度を目標に策定した第5次総合計画では、主要施策のひとつに「リニモでにぎわい交流するまち」を掲げており、長久手古戦場駅と公園西駅周辺で新しい市街地の形成を進めています。



長久手古戦場公園(左奥)と長久手中央2号公園(右手前)とイオンモール長久手(右奥)

1 長久手中央土地区画整理事業

この地区は、市の中央にあつて、長久手古戦場駅を中心としたエリアに位置し、東西に県道力石名古屋線が、南北に県道瀬戸大府東海線が交差しています。名鉄バスやN-バス、日進市のコミュニティバスも乗り入れるなど交通の結節点として、交通の便が非常に良い立地となっています。

また、第5次総合計画において、都市核「シンボル・コア」として位置付けられており、長久手市の新たな顔としてのまちづくりが期待されています。

駅の北側には、12月9日にイオンモール長久手がオープンします。長久手市の新たな中心市街地にふさわしいにぎわいを生み出すことを期待されています。



【左】イオンモール長久手で行われた植樹祭の様子。大村知事、市長のほか、多くの市民のみなさんが参加されました。(平成28年10月30日撮影)

【下】長久手古戦場駅の周辺イメージ図



公園西駅(左)とイケア出店予定地(右)



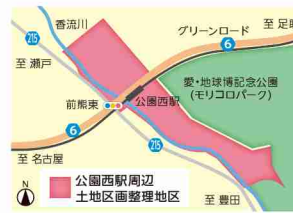
2 公園西駅周辺土地区画整理事業

この地区は、市の東部にあつて、公園西駅を中心としたエリアに位置し、県道力石名古屋線と県道田村名古屋線が交差しています。

第5次総合計画において、豊かな自然環境と共生できるように、地域特性を生かした住宅地をつくることを目

指す地域として位置付けられており、環境配慮型まちづくりを推進していきます。

駅の北側では、大型家具量販店のイケアの建設工事が進んでいます。



【上】公園西駅の周辺イメージ図
【右】平成27年7月8日に実施した商業街区の進捗状況についての報道発表時
[左:長久手市吉田一平市長 右:イケア・ジャパン株式会社ピーター・リスト社長(当時)]



次号予告 来月号では、リニモによってたらされた効果やリニモの経営状況、そしてこれからのリニモについて特集する予定です。

☑ **リニモのダイヤが12月4日(日)から変わります** ☎愛知高速交通㈱ ☎61-4781

リニモのダイヤが12月4日(日)から変わります。新しい時刻表は、愛知高速交通☎をご確認ください。

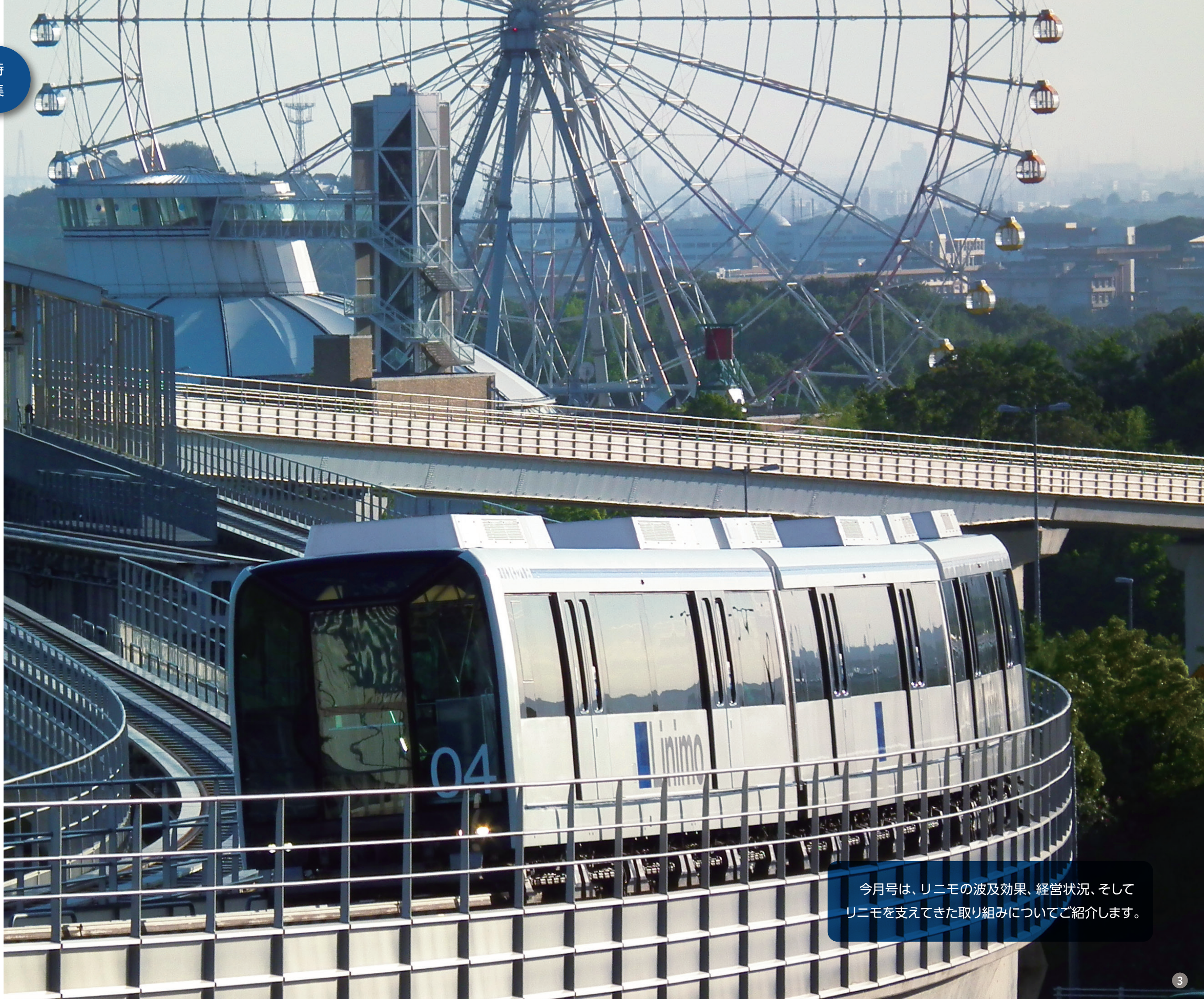
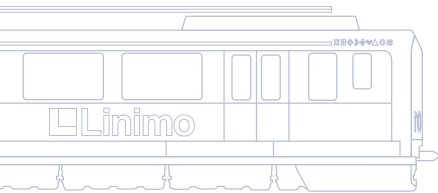
1. 土休日の運行本数の拡大
2. 午前8時台前半に藤が丘駅発の列車の運行を現行の6分間隔から5分間隔に短縮
3. 昼間時間帯における列車の運行を現行の10分間隔から8分間隔に短縮

特集

わたしたちのリニモ

The Linimo in our town

問 経営企画課 ☎56-0600
記事ID9430



今月号は、リニモの波及効果、経営状況、そしてリニモを支えてきた取り組みについてご紹介します。

「長久手ブランド」の定着



1 長久手市の地価

長久手市の地価は商業地、住宅地ともに高い数値であり、平成28年度地価公示調査の結果では、ともに名古屋市に次いで県内で2位という結果になっています。

商業地の平均価格 (高位) ※平成28年公示

県内順位	市町村名	平均価格(円/m ²)
1	名古屋市	571,000
2	長久手市	171,000
3	知立市	166,000

住宅地の平均価格 (高位) ※平成28年公示

県内順位	市町村名	平均価格(円/m ²)
1	名古屋市	168,900
2	長久手市	132,600
3	刈谷市	128,100

参考 ■ 瀬戸市 55,000円 ■ 豊田市 95,500円
 ■ 尾張旭市 96,000円 ■ 日進市 118,300円

2 波及効果

リニモの整備及び周辺開発に伴う経済波及効果について愛知高速交通(株)が推計を行い、リニモが地域経済に与える効果を調査しています(平成25年2月東部丘陵線の建設及び周辺開発による経済効果調査)。

リニモの建設や公的施設の整備、あるいは沿線における区画整理事業等に伴う用地造成や施設建設等に係る事業費として、多額の資金が投入されてきましたが、これまでに誘発されてきた生産額や今後もたらされる生産額は、それ以上の効果があると推計されています。

また、沿線の事業所・店舗等における年間売上額や、今後整備される店舗など様々な波及効果が見込まれます。

イオンモール長久手のオープン時には市内外から多くの方が訪れました (平成28年12月9日撮影)

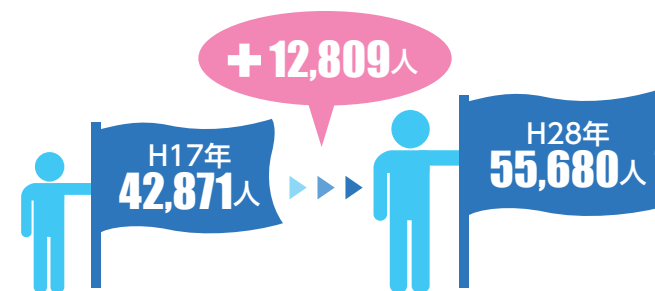
3 人口の著しい増加

長久手市の人口は、開業後の11年間に於いても、着実に増加してきました。開業直後の平成17年4月の人口42,871人は、平成28年4月の55,680人へと増加しました。

平成27年国勢調査の結果を見ても、県内での人口増加率が1位、全国で見ても6位と、長久手市に転入してくる人が多数いることがわかります。

また、厚生労働省の研究機関である国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月全国市町村の将来人口では、他の市町村が人口減少社会を迎える中、長久手市は2040年になっても人口が増加するとされています。

人口増加、地価上昇などの各種調査でのまちの高い魅力など「長久手ブランド」はすっかり定着してきたと考えられます。



長久手市、沿線市及び愛知県の将来推計人口 (2010年を100とした場合)

人口増加率 **10.7%**
 県内1位
 全国6位

